**富山県黒部市と姉妹都市提携を行いました**

11月5日、富山県黒部市と、大崎市誕生後、初めての姉妹都市提携を行いました。

黒部市で行った姉妹都市提携調印式の様子と新たな姉妹都市、黒部市について紹介します。

問い合わせ　観光交流課交流担当 電話番号23-7097

写真：黒部峡谷（黒部市）を走るトロッコ電車

　　　姉妹都市盟約書に署名する両市の市長

　　　盟約書を披露する伊藤康志大崎市長と、立会人の吉田氏、大野黒部市長

**姉妹都市提携の経緯**

黒部市との交流の始まりは、さかのぼること約半世紀。

昭和49年、現YKKAP東北製造所の創設に伴い、同社の製造所がある黒部市から多くの社員が本市へ移住したことを縁としています。以来、交流が続き、本市に定住した人たちは、行政区長や青少年の国際交流推進に関わるなど、地域づくりに欠かせない人材となっています。また、黒部市へUターンした人たちは、本市の紹介役を担っています。

東日本大震災や令和元年東日本台風の際には、ＹＫＫグループや黒部市から職員派遣などの支援がありました。昨年10月には、本市と黒部市の安全・安心の基盤が強固になることや交流の輪が広がることを期待して「災害時等における相互応援に関する協定」を締結しています。

さらに、両市でお互いの市の物産フェアを開催するなど、より交流が深まったことから、大崎市、黒部市がともに誕生15周年を迎えた今年、姉妹都市提携を行うこととなりました。

**姉妹都市提携調印式**

　調印式は、記念の瞬間を見届けたいと応募した、大崎市民親善訪問団のほか、黒部市議会議員や黒部市の各種団体の代表者など約80人が見守るなか、伊藤康志大崎市長と大野久芳黒部市長が盟約書に署名しました。立会人を務めたYKKAP株式会社相談役で黒部市名誉市民の吉田 氏からは、「特別に思い入れのある大崎市と黒部市の姉妹都市提携はこの上ない喜び」とあいさつがあり、会場は大きな喜びに包まれました。

　今後は、両市の共通点や相違点を活用し合い、産業、観光、教育など各分野での交流を通して、さらなる両市の発展を目指します。

**山・川・海がそろう大自然が魅力！！　黒部市ってどんなとこ？**

平成18年3月31日、旧黒部市と旧が合併して黒部市が誕生し、本市と同様に、今年15周年を迎えました。

　富山県の東部に位置し、黒部峡谷や美肌の湯「温泉」、環境省認定名水百選に選ばれた「」、神秘の海「富山湾」など、豊かな自然に恵まれたまちです。

　また、YKKグループが大規模な開発・製造拠点を置き「善の巡環（他人の利益を図らずして自らの繁栄はない）」の理念のもと、黒部市のまちづくりにも参加しています。

▪主な産業は農業、漁業

▪北陸新幹線で東京駅から黒部宇奈月温泉駅まで約2時間

写真：宇奈月温泉

　　　黒部市に設置された大崎市までの距離を記した案内板

**大崎市民親善訪問団**

訪問団には、黒部市や交流事業に興味がある人など17人の応募があり、11月5日から7日まで伊藤市長と共に黒部市を訪問。

黒部市役所到着時は大勢の市民に大歓迎を受け、6日には黒部市制施行15周年記念式典にも出席しました。

黒部市の雄大な自然も体験し、黒部市民との交流を深めました。

写真：地区でといわれる湧水を見学

写真：歓迎を受ける市民親善訪問団

**大崎市民親善訪問団に参加した　伊東 さん（三本木地域）**

　三本木地域には、YKKAP社員をはじめとして黒部市に親しみを持っている人が多く、私も一度行ってみたいと思っていました。

　大崎市と黒部市には、それぞれYKKグループの仲立ちで提携した国際交流都市があります。

　私は、大崎市の姉妹都市、米国ダブリン市との交流事業を行っていて、今回、黒部市の皆さんと国際交流の情報交換ができ、非常に有意義な訪問でした。

　今後、両市の子どもたちが、お互いの市を体験するプログラムなどができることを期待しています。